

NPO☆Kyoken



通 信

☆特定非営利活動法人 教育研究所(不登校問題研究会事務局)79号 平成18年12月1日発行

〒233-0013横浜市港南区丸山台2-26-20 TEL:045-848-3761/FAX:045-848-3742

URL: <http://kyoken.org/>

E-mail: contact@kyoken.org

富山県黒部市宇奈月温泉にある宇奈月若者自立塾が始まり1年が経ちました。他の自立塾の社会復帰としての3ヶ月の修了生の就業率は56%程度ですが、宇奈月若者自立塾の場合は90%に迫る勢いで社会復帰して行っています。

その秘密は30余年に渡る不登校・ひきこもりから学んだ臨床経験が随所に生かされているからです。秘密を探ってみると……。

秘密1 大自然の中でのびのびと自由な雰囲気与生活し、自分を再発見・再構築

秘密2 地元の実業界の人々の最大限の支援

秘密3 漁業からホテルのフロント業務まである多彩な就労体験先

秘密4 心と体のケアからはじまる確かな“働く意識”の形成

秘密5 温泉力・オオタニホテルの特別ケータリングサービスの豪華な食事

秘密6 ヤングジョブやサポートステーションとの連携

などなど、たくさんの秘密が隠されています。

そんな実績からNHKテレビ、テレビ朝日、北日本放送テレビで紹介され、この秋から塾生も増え、にぎやかな自立塾になってきました。来春からは地域起しと起業家を育てる第一弾として、地元の牧場でとれた新鮮な牛乳と黒部の名水のコラボレーションから出来上がった宇奈月若者自立塾特製の“杏仁豆腐”が地元の名産品の仲間入りをします。また、インターネットでの販売も計画中です。

☆「不登校・ひきこもり・ニート&ネット依存脱出短期体験合宿」のご案内

情緒的には大きな問題がないが、人間関係に消極的な新しい不登校の生徒やニートの若者、あるいはネット依存になってしまった子どもや若者の対応の場として、体験合宿の効果は非常に高いということが分かってきました。参加者の方々から大好評だった夏の合宿に続き、秋の合宿として、当塾の宇奈月若者自立塾を使い開催します。人数に限りがありますのでお早めにお申し込み下さい。

富山県「宇奈月温泉」短期体験合宿 場所 富山県黒部市宇奈月温泉「若者自立塾」

期日 12月14日から18日（4泊5日）

目的 ひきこもりやニート、ネット依存の状況から抜け出すことを目的に生活リズムの改善・体力UP・人間関係の改善（コミュニケーションスキルのUP）進路カウンセリングなどを行い。不安感をやわらげさせ自己有用感を持たせるようさせ、12月から具体的に動き始めるためのフォローUPを図る。

療法 治療レクリエーション・バランスボール・最大酸素摂取量体力測定・スポーツ遊戯療法・などの人間関係スキルトレーニング・就労体験先訪問・カウンセリング

集合 横浜「教育研究所事務所」午前9時 現地「若者自立塾」午後4時のいずれかをお選び下さい。

対象者 ひきこもりの人、不登校の生徒、ニートの方で若者自立塾の生活を体験してみたい人、ネット依存から脱出したい人など

定員 横浜発6名、現地集合6名

費用 47,250円（横浜発は交通費別途10,500円）
天然温泉は塾内にあるので24時間入れます。
申し込みには事前面接（無料）が必要です。

主催/NPO法人教育研究所<http://kyoken.org/>

〒233-0013 横浜市港南区丸山台 2-26-20

TEL 045-848-3761(代) ファックス 045-848-3742

振込み先、横浜銀行、上永谷支店（323）（普）口座番号 1442815

加入者名「特定非営利活動法人 教育研究所 理事長 牟田 武生」

----- <申 し 込 み> -----

参加者氏名 _____ (歳)住所 _____

電話番号 _____

保護者名 _____

印 _____

11月宇奈月温泉「短期合宿報告」

短期合宿は自立塾プレ体験希望者3名、中学生1名が参加し、紅葉たけなわの宇奈月温泉で行われました。

バーベキュー、芋煮会、海岸森林跡見学、就労体験先見学、ソフトボール大会等、現塾生、OB、と混じり、みんな楽しく有意義なひと時を過ごしました。しかし、その中には効果満点の人間関係トレーニングが密かに含まれています。(はい、トレーニングの時間ですよ！アサーション(人間関係のスキルを学ぶトレーニング)ですよ！と言って、プログラムと時間を決めてやっても、緊張し、借りてきた猫の過剰適応状態でやっても意味はない。しかし、世の中はそのやり方)

また、この合宿だけで自信を取り戻し、職場に復帰した人もおりました。また、十数年ひきこもり、親とも口を利かなかった青年が社会復帰目指して、感動的な第一歩をこの合宿で踏み出しました。

ひきこもり・NEETから脱出のためのソフトとハードは30余年の地道な研究実践によって、完成しつつあります。「自分を変えよう」と感じた時、勇気を持って第一歩を踏み出しましょう。私達は本人の状態像に応じて緩やかに学校や社会復帰のために支援して行きます。

新連載

この連載文は「教育新聞社・WEBサイト子悩みドットコム」に2005年1月から連載されたもので大きな反響がありました。是非、お読み下さい。

インターネットと若者の心理 第3回

牟田武生

2月14日、大阪府寝屋川市の中央小学校で、同小学校卒業生で17歳の少年が3人の教職員を殺傷する事件が起きた。犯行の動機として、小学校時代いじめられているのに担任がかばってくれなかったと供述している。(いじめについては、現在、まだ、未確認情報である。当時、係わりのあった先生は、いじめはなかったと否定し、級友もなかったと言う。だが、些細な言い争いはあったと言う子どももいる)

その後、少年は中学で不登校になったという。「TVゲームが好きだった」「学校ではおとなしく一人であることが多かった」「勉強がよく出来た」と当時のクラスメート語る。少年は不登校のまま中学を卒業し、通信制高校に在籍するが大学卒業検定試験に合格し、高校を中退している。家でTVゲームをよくし、たまにゲームセンターに行き、一人でゲームをしていたと言う。

表1 登校拒否児童生徒（50日以上欠席者）数の推移と人気ゲーム機発売年

西暦とゲーム機の発売	小学生		中学生		
	登校拒否児童生徒数(人)	割合(%)	登校拒否児童生徒数(人)	割合(%)	合計(人)
1974年	2,651	0.03	7,310	0.15	9,961
1978年インベーダーゲーム登場	3,211	0.03	10,429	0.21	13,640
1983年ファミコン発売	3,840	0.03	24,059	0.42	27,899
1990年スーパーファミコン発売	8,014	0.09	40,223	0.75	48,237
1994年プレイステーション発売	15,786	0.18	61,663	1.32	77,449
1999年プレイステーション2発売	26,047	0.35	104,180	2.45	130,227
2003年プレイステーションオンライン可能	24,086	0.33	102,126	2.72	126,212

上の表1はゲームと不登校の児童生徒の 不登校児童生徒数 文部科学省「学校基本調査」より関係をまとめた表である。不登校はゲームだけでは無論語れない。参考資料だがゲーム機が高性能になればなるほど不登校の児童・生徒は、増加していく。ゲーム機の高性能化とゲーム人口の増加は相関している。ゲームの増加は子どもの遊びの変化でもあり、子ども達が近所で群れをなして遊ぶ時代が終わり、少子化と塾や習い事が増え一人遊びが主流に変わっていった。

経済的には高度経済成長が終わり、緩やかな経済成長へ、そして、バブル経済の時代、バブル崩壊へと向かう過程でもある。教育の世界では偏差値教育の過熱と弊害が言われ、総合的な学習の時代へと変化した時だった。

表2 子どものネットゲーム&TVゲーム利用率

全国		不登校の子ども	
小学5年生	41.08%	小学生	97.77%
中学2年生	33.6%	中学生	59.76%

全国は平成16年3月(社)日本PTA全国協議会調べ

不登校は平成17年2月横浜市教育委員会&横浜子ども支援協議会調べ

NPO法人教育研究所講演会のお知らせ

講演会は保護者や教師など専門家の理解を深める目的で年間を通じて行っています。

不登校・ひきこもりからの人生設計

誤った対応や進路選択をしないための父母の役割

日程/平成18年12月9日(土) ゆめおおおかオフィスタワー内ウィリング横浜123号室

講師/牟田 武生 教育コンサルタント NPO法人教育研究所理事長

不登校からひきこもり就学年限を過ぎてもひきこもり状態が続くと、やがて、ニート(無就労・無就学)の仲間入りします。若者自立塾でニートの若者に接して感じることは、不登校からひきこもりニートに移行して行った人の社会復帰は、生活習慣が身につけていない(紐が結べない等)・生活リズムの乱れ・社会的常識の欠落・基礎体力不足・学力や職業上必要な技術の不足・人間関係のスキル不足など、様々な課題を乗り越えていかなければ、社会的な自立は不可能です。

低学年から不登校が起り、十分な対応がなされずに誤った対応を行ってしまい、ひきこもりが長引けば長引くほど、困難な状態に陥ります。この状況は多くの場合、本人だけの問題ではなく、不登校やひきこもりを病気の側面だけでみて、誤った投薬を続ける医師、いつときだけ心の安定を図ろうとするカウンセラー、在学中だけ教育的側面だけで関わる教師等の誤った判断からも長期化します。

そのような一時的に関わる人たちに子ども達の人生を左右させて良いのでしょうか。一生の関わりとして親子関係。“子どもと関わり、子どもの気持ちを理解して対応する。”それを支援するのが私達「NPO 教研」の活動です。「父親に出来ること」「母親に出来ること」「親や保護者に出来ること出来ないこと」などをアドバイスしたり、親や保護者に出来ないことを支援し、その中から、子どもと信頼関係を築き、一生の付き合いをすることが私達のテーマです。

今回は、不登校・ひきこもり・ニートからの人生設計という深い本質的な問題を参加者の皆様とともに御一緒に考えていきましょう。

講演会場&スケジュール

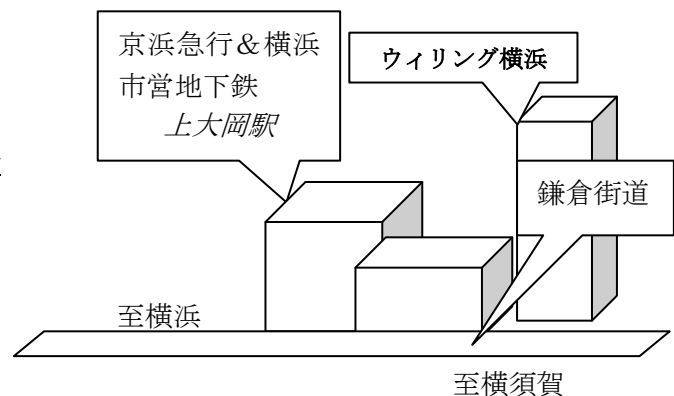
受け付け開始：13時

第一部 講演：13時30分～15時00分

第二部 質疑応答：15時10分～15時30分

終了：15時30分

参加費：1000円



☆お母さんたちの交流会のお知らせ☆

「毎月5～6人が集まって、お茶を飲みながらおしゃべりに花を咲かせています。共通する悩みを持つもの同士、気軽な気持ちで、息抜きにでも参加して頂ければいいなと思っています。」（卒業生の母より）

- ・同時に親の会ミニ図書館を開催。
- ・会員の方ならどなたでも利用可。
- ・不登校やひきこもりに関する本や心理の本等が300冊以上あります。

ぜひご利用下さい。予約の必要はありません。

開催予定日 12月は開催がありません。



若者自立塾個別説明会開催のお知らせ

日 程： 平成18年12月9日（土）

時 間： 午後3時50分～午後4時50分まで

場 所： ゆめおおおかオフィスタワー内
ウィリング横浜123号室

（京急、横浜市営地下鉄上大岡駅徒歩1分）

「若者自立塾」の現地個別相談・説明会

日 程： 12月17日（日）

時 間： 13時から17時まで

いずれも予約が必要、個別説明会は045-848-3761（教育研究所）現地説明会は0765-62-9681（宇奈月若者自立塾）まで電話予約してください

※自立塾については 財団法人 社会経済生産性本部 若者自立塾支援センター
<http://www.jiritsu-juku.jp>をご覧ください。

☆NPO教研会員継続手続きのお願い☆

05年度に手続きいただいた、NPO教研の会員資格が、3月末で終了致しています。それにと
もない06年度も会員となり、これまでと同様に教研の会員として、教研活動を支持支援して
いただければと思います。

お手続きは同封の郵便振替用紙に必要事項をご記入いただき、年会費5000円をお支払いいた
くというものです。（まだ06年度も会員になられてない方だけにお送りしています。）

あるいは、下記の口座にやはり会費5000円をお支払いいただく方法もございます。その場合は、
必ずご自身のお名前を入れていただくよう、よろしくお願い致します。

会費納入口座は 横浜銀行 上永谷支店（323）

（普）1442815

